

支援対象事業者のビジネスプラン

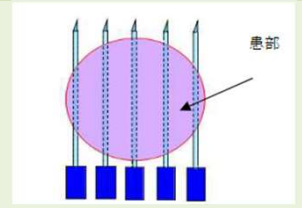
【事業者名】 株式会社アドメテック

【ビジネスプラン名】
有効な治療法がないがん性皮膚潰瘍を根本から改善し、QOLの大幅な向上を図る

【内容】がん性皮膚潰瘍は治療が難しく症状も進行する。また、患部から液体が滲み出るほか、出血、痛み、悪臭などの身体的・精神的苦痛を伴うことから、患者のQOLを著しく低下させている。臨床現場では多くの場合、患部の消毒や軟膏の塗布、ガーゼ交換などの処置が行われており、本人や家族にとっても負担となっている。開発品を用い、がん性皮膚潰瘍の患部に非常に細く発熱させた針を刺すという患者の体への負担が少ない方法で癌組織や血管を加熱・凝固させて病変を変性させ、患部からの出血などを防ぎ、患者のQOLの向上を目指している。



制御機器外観



施術イメージ図



開発中の
「発熱プローブ」

【事業者名】 株式会社トニジ

【ビジネスプラン名】
緑内障患者向け家庭用眼圧計の研究開発

【内容】失明原因1位の緑内障は患者の眼圧を治療の指標の一つとして活用するが、既存の家庭用眼圧計は高価格であり利便性の面でも普及していない。また、眼圧は一日の間で変化するが、低コストで把握する手段が存在しない。開発中の製品は、個人が取得できる価格帯で、まぶた越しに自宅で自分で測定できる眼圧計である。眼圧の自己測定を普及させ、より患者が点眼薬を用法・用量通りに使用できるようになることで、緑内障の重症化の回避を目指している。取得データを患者と医療者間で共有すれば、診療の効率化も期待できる。



開発中の眼圧計の現行試作機（瞼を閉じた状態で機器の先端を瞼にあて、指でタップして眼圧を計測）

【事業者名】 株式会社HICKY

【ビジネスプラン名】
心不全に合併する中枢性睡眠時無呼吸に対する低侵襲治療デバイス開発

【内容】高齢者の10人に1人いる心不全患者のうち4割が患う中枢性睡眠時無呼吸は、心不全によって呼吸の調整がうまくいかなくなることにより引き起こされ、さらに心不全を悪化させ再入院率・死亡率を高める疾患だが、患者への負担が少なく有効な治療法がない。カテーテル治療とワイヤレス充電技術を活用し、心臓付近に埋め込んだステント電極で呼吸に必要な神経を刺激する仕組みの、患者の体に優しい革新的な治療を開発する。開発中の治療機器により、心不全患者の再入院率の低下・死亡率の改善・QOLの向上を目指している。



電力をワイヤレスにステント型電極へ
特許出願済

静脈内のステント型電極から
横隔神経を刺激